

1/政治改革

企業・団体献金の廃止（政治資金規制の強化）

2/経済政策①

金融政策の転換で、円安（日本売り）をストップ！

3/経済政策②

食品消費税ゼロ（物価高対策）

4/経済政策③

東京一極集中の是正（若者のUターン支援）

5/まちづくり

地域公共交通ネットワークの支援

6/外交

アメリカに「NO」と言える日本

7/未来への投資

教育・科学技術予算の増額

8/結婚制度

選択的夫婦別姓の導入

9/人間の生と死

尊厳死（安楽死）の法制化

10/皇室

女性天皇の実現（愛子さまを皇太子に）



Web サイトや SNS でも  
政策や選挙中の情報、動画を配信中！

津村啓介

検索

つむらけいすけ で けんさく



# 挑戦者

3年間の落選・浪人生活を経て、皆さまの温かいお力添えで国会に復帰させて頂いたのは、2024年11月のことでした。以来まだ僅か1年2ヶ月。

政治空白を生む総理のサプライズ解散に大義はありませんが、より良い政治をめざして、津村啓介は受けて立ちます。

この1年、日本政治は大きく動きました。

旧統一教会との深い癒着が国民を怒らせ、自民党は2度の国政選挙で議席を大きく減らして、与野党が逆転。しかし、自民党裏金問題はその後も改まらず、クリーンな政治をめざす公明党は26年続いた自民党との連立を解消しました。

その結果、野党が15年間訴え続けてきた「ガソリン減税」「給食無償化」が遂に実現。

皆さんが投票所に足を運んで投じた、大切な一票一票が今、日本の政治を大きく変えつつあります。

新しい政治の流れを、ここで止めるわけにはいきません。

日銀出身の津村啓介は、経済の専門家。地方・女性・若者を重点支援する景気対策が持論です。国会議員の必須科目として、日本を守る外交・安全保障のフィールドにも携わってきました。与党時代には内閣府政務官として、国家戦略の全体像を立案・調整する大役を拝命し、5人の大臣を支えてまいりました。

今回の衆院選。津村啓介は「マニフェスト10策」を掲げ、日本社会の改革を訴えます。津村啓介は、挑戦者・改革者として、次世代日本のリーダーをめざします。

津村 啓介  
衆議院議員7期

昭和 46年 岡山県津山市生まれ (10月27日、AB型) **54歳**

平成 6年 東京大学法学部（政治コース）卒業、  
日本銀行 入行

平成 13年 オックスフォード大学 MBA

平成 15年 衆議院議員 初当選（全国5番目の年少当選）

平成 21年 内閣府大臣政務官（国家戦略担当）

平成 23年 『国会議員の仕事』（中公新書）を出版  
—自民党 林芳正代議士との共著—

平成 30年 党首選出馬、次点（旧 国民民主党代表選）

令和 6年 新岡山2区で衆議院選挙に当選

令和 7年 立憲民主党 副幹事長に就任

つむらけいすけ  
中道改革連合

ちゅうどうかいかくれんどう